

2025 年 7 月 11 日

需要家 各位

横須賀地区生コンクリート協同組合

代表理事 沼田 正信



暑中期におけるレディーミクストコンクリートの納入について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊協同組合の運営にご理解を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて近年の地球温暖化による異常気象の影響により、神奈川県下においては最高気温が 35℃を超える猛暑日が多くなってきております。このため、暑中期において製造時のコンクリート温度が 35℃近くになることが多々あり、納入時に 35℃を超えてしまうことが懸念されます。

暑中期のコンクリートに関しては日本建築学会「暑中コンクリートの施工指針・同解説」が 2019 年に改訂され、コンクリートの性能が低下しないよう適切な対策を講じることにより受入時のコンクリート温度の上限値は 38℃にできると記載されています。

また、JIS 登録認証機関では、コンクリート温度の上限値を 38℃に社内標準化することで JIS 規格適合品として認めています。

弊協組組合員は、全ての工場で社内規格を改定し、JIS 登録認証機関の承認を得ており、荷卸し時のコンクリート温度が 38℃以下であれば、JIS 規格上問題がない体制を整えています。

このような情勢の中、納入現場で受入基準を 35℃以下とされている場合は、工場は JIS 規格適合品として品質に問題のないレディーミクストコンクリートを出荷しても、現場の基準によって受け入れを拒否されることがあります。

弊協組といたしましては、コンクリート温度のみ不適合が発生した場合には、お客様都合による出荷後キャンセルとして取り扱い、商品代及びキャンセル料金をご負担いただくことをご了承いただきたくお願い申し上げます。

近年、夏期の外気温が高くなる傾向にあることから、暑中期におけるレディーミクストコンクリートの納入に関しまして、是非ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

敬具